

## 平成11年度の「宇宙開発計画」について

平成11年3月10日  
宇宙開発委員会事務局

### 1. 「宇宙開発計画」とは

- ・「宇宙開発計画」は、当面の打上げ目標時期等を明らかにしつつ、各年度以降に実施すべき政府の宇宙開発活動を位置付けるもの。
- ・同計画は毎年、予算の国会通過時期に合わせ宇宙開発委員会が決定。
- ・また、「宇宙開発計画」は、毎年、宇宙開発事業団法第24条に基づき、宇宙開発委員会の議決を経て内閣総理大臣が定める「宇宙開発に関する基本計画」ともなる。
- ・これらの計画は、それぞれプレス発表、官報告示を行い、広く国民に公表する。

### 2. 平成11年度の「宇宙開発計画」の概要

- ・平成11年度の「宇宙開発計画」の内、平成10年度の同計画からの主な変更点を別紙に示す。

### 3. スケジュール

- |          |  |
|----------|--|
| 3月10日（水） | <ul style="list-style-type: none"><li>・「宇宙開発計画」を宇宙開発委員会が決定し（プレスに発表）、内閣総理大臣へ意見具申</li><li>・内閣総理大臣は、「宇宙開発計画」を受けて宇宙開発委員会に対し同計画を宇宙開発事業団法第24条に基づき、「宇宙開発に関する基本計画」として議決の要請</li><li>・宇宙開発委員会が議決</li></ul> |
| 3月末      | <ul style="list-style-type: none"><li>・「宇宙開発に関する基本計画」を内閣総理大臣が決定<br/>(その後直ちに官報に告示)</li></ul>  |

(参考)

宇宙開発事業団法 [昭和44年6月23日 法律第50号] (抜粋)

(業務運営の基準)

第24条 事業団の業務は、宇宙開発委員会の議決を経て内閣総理大臣が定める宇宙開発に関する基本計画に基づいて行わなければならない。

平成11年度宇宙開発計画の主要点  
(平成10年度計画からの変更点)

フェーズ	プロジェクト名	打上げ年度	打上げロケット	本文頁
開発へ移行	月周回衛星 (S E L E N E) (科技庁、文部省)	平成15年度	H-IIA	7
開発研究へ 移行	第22号科学衛星 (S O L A R - B) (文部省)	平成16年度	M-V	5
打上げ年度 の変更	環境観測技術衛星 (A D E O S - II) (科技庁)	平成11年度 ⇒平成12年度	H-IIA	2
	第17号科学衛星 (L U N A R - A) (文部省)	平成10年度 ⇒平成11年度	M-V	4
	第21号科学衛星 (A S T R O - F) (文部省)	平成14年度 ⇒平成15年度	M-V	5
	次世代型無人宇宙実験システム (U S E R S) (通産省)	平成12年度 ⇒平成13年度	H-IIA	9
	ライダ実証衛星 (M D S - 2) (科技庁)	平成12年度 ⇒平成13年度	未定	11
	宇宙往還技術試験機 (H O P E - X) (科技庁)	平成12年度 ⇒平成15年度	H-IIA	14
	国際宇宙ステーションの日本実 験棟 (J E M) (科技庁)	平成13年度 ⇒平成13、 14年度	スペース シャトル	15
	宇宙ステーション補給システム 技術実証機 (科技庁)	平成13年度 ⇒平成14年度	H-IIA	16

(参考)

宇宙開発計画上の区分：研究（概念設計）、開発研究（システム確定、予備設計）、開発（詳細設計、製作、試験、打上げ）

## 運用・研究の変更等

### ■ 地球観測・地球科学の分野

- ・ 地球資源衛星1号（J E R S - 1）の運用終了
- ・ 大気観測センサ（I L A S - II）の後継センサの開発研究着手
- ・ 中・小型衛星システムによる地球観測ミッションの実現に向けた研究
- ・ 情報収集衛星に関する研究

### ■ 宇宙科学の分野

- ・ 試験惑星探査機（M S - T 5）の運用終了
- ・ 第18号科学衛星（P L A N E T - B）の運用開始

### ■ 通信・放送・測位等の分野

- ・ 放送衛星3号の運用終了
- ・ 超高速通信・データ中継実験システムの研究
- ・ 準天頂衛星通信システムの研究

### ■ 宇宙環境利用の分野

- ・ 宇宙実験用小型ロケット（T R - 1 A）の開発の終了
- ・ 宇宙環境利用に関する応用化研究の実施

### ■ 有人宇宙活動の分野

- ・ 宇宙放射線防護に関わる宇宙医学研究

### ■ 人工衛星の基盤技術の分野

- ・ 技術試験衛星VIII型（E T S - VIII）の開発における大型展開アンテナ小型・部分モデルの事前実証の実施
- ・ 新世代小型高機能衛星システムの研究
- ・ 宇宙機設計解析支援システムの研究
- ・ 宇宙産業技術情報基盤の整備に関する研究

### ■ 宇宙インフラストラクチャーの分野

#### [輸送系]

- ・ A D E O S - II 打上げスケジュール変更に伴うH - II ロケット7号機とH - II A ロケット2号機の入れ換え
- ・ 小型衛星及び鯨生態観測衛星の環境観測技術衛星相乗りによる打上げ
- ・ 宇宙往還技術試験機（H O P E - X）のための高速飛行実証機飛行実験の実施

#### [拠点系]

- ・ 遠隔検査技術の事前実証の実施

#### [支援系]

- ・ 宇宙天気予報のための宇宙環境監視衛星の研究

### ■ 打上げ

- ・ 運輸多目的衛星2号機の調達着手

### ■ 施設の整備

- ・ 月ミッション運用・解析センターの整備
- ・ 地球観測情報処理システムの再構築

### ■ その他の施策

- ・ 国際宇宙ステーションに係る広報・普及啓発活動の推進
- ・ 宇宙放射線防護に関わる宇宙医学のための国際協力
- ・ 国際宇宙ステーション計画に関する評価

人工衛星打上げの実績及び計画

▲ 打上げ済のもの

打上げ機＼年度	昭和44	昭45	昭46	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54	昭55	昭56	昭57	昭58	▲ 第9号科学衛星 (EXOS-C) 「おおぞら」	
M一口ケット	▲ 〔「おおぞら」 (しロケット)〕	▲ 〔「おおぞら」 (M-S-T1)〕	▲ 〔試験衛星 (M-S-T1)〕	▲ 〔「たんせい」 第1号科学衛星 (REX-S)〕	▲ 〔「でんぱ」 第2号科学衛星 (M-S-F2)〕	▲ 〔試験衛星 (S-RAT-S) 「たいよう」〕	▲ 〔「たんせい」 (M-S-T2)〕	▲ 〔「たんせい」 (M-S-T2)〕	▲ 〔「たんせい」 (ISS) 「うめ」〕	▲ 〔試験衛星 (EXOS-A) 「きよつこう」〕	▲ 〔「たんせい」 (EXOS-B) 「じきけん」〕	▲ 〔第4号科学衛星 (ASTRO-A) 「ひのとり」〕	▲ 〔「たんせい」 (ASTRO-B) 「あやめ」〕	▲ 〔第7号科学衛星 (ASTRO-A) 「ひのとり」〕	▲ 〔「たんせい」 (ASTRO-B) 「あやめ」〕	▲ 〔第8号科学衛星 (ASTRO-B) 「てんま」〕	▲ 第9号科学衛星 (EXOS-C) 「おおぞら」
N-I口ケット	静止軌道に 約130kg															▲ 放送衛星2号 (BS-2a) 「ゆり2号-a」	
N-II口ケット	静止軌道に 約350kg															▲ 放送衛星2号 (BS-2a) 「さくら2号-b」	
H-I口ケット	静止軌道に 約550kg															▲ 放送衛星2号 (BS-2a) 「ひまわり2号-a」	
その他の	一 ル 捨 ツ ペ ト い ケ ス ヤ 使 ロ 米 入 又 て ト 国 シ は 型															▲ 粒子加速装置を用い た宇宙科学実験 (SEPARAC)	

\* H10年度中に運用終了した街星

### ▲打上げ済のもの

— わけ年度か変更となつた箇所 —

▲打上げ済のもの △打上げ予定のもの

打上げ機／年度	平成 7	平成 8	平成 9	平成 10	平成 11	平成 12	平成 13	平成 14	平成 15	
M-Vロケット 【低軌道に 約1・8t】		▲ 第 16号 科学衛星 〔M U S E S -B〕 〔はる か〕		▲ 第 18号 科学衛星 〔P L A N E T -B〕 〔のぞ み〕	△ 第 19号 科学衛星 〔A S T R O -E〕 〔L U N A R -A〕			△ 第 20号 科学衛星 〔M U S E S -C〕	△ 第 21号 科学衛星 〔A S T R O -F〕	
H-IIロケット 【静止軌道に 約2t】		▲ 注4 〔注4〕 〔ア ド エ オ ス〕 〔み ど り〕 〔地 球 観 測 ブ ラ ッ ト テ ク ニ ク 〔E T S -V II〕 〔きく 7号〕	▲ 通信放送技術衛星 〔C O M E T S〕 〔か け は し〕 〔注5〕 〔注5〕 〔熱 帯 降 雨 觀 測 衛 星 〔T R M M〕 〔T E C H I C A L S -V II〕 〔きく 7号〕	▲ 運輸多目的衛星 〔M T S A T〕	△ 〔注5〕 〔D R T S -W〕 〔民 生 部 品 コ ン ボ ー ネ ント 実 証 衛 星 〔M D S -1〕	△ 〔注5〕 〔D E T A C H I C A L S -W II〕 〔テ ク ノ ロ ジ カ 〔A R T E M I S〕 〔ア ル テ ミ ス〕	△ 〔注6〕 〔A R T E M I S〕 〔ア ル テ ミ ス〕	△ 〔注7〕 〔A D E O S -II〕 〔ア ド エ オ ス -II〕	△ 〔注7〕 〔U S E R S〕 〔ユ サ ー ス〕	△ 〔注7〕 〔D R T S -E〕 〔ア ル テ ミ ス〕 〔テ ク ノ ロ ジ カ 〔A L O S〕 〔ア ロ ス〕
H-II A ロケット 【静止軌道に 約2~3t】								△ 〔注7〕 〔シ ス テ ム〕 〔シ ス テ ム〕	△ 〔注7〕 〔S E L E N E〕 〔セ レ ネ ン〕	
J-Iロケット 【低軌道に 約1t】	▲ J Y F L E X 〔J I 性 能 確 認 試 験〕	注4 アマチュア衛星 (JAS-2) ふじ3号同時打上げ 同時打上げ 注5 注6 歐州宇宙機関ESAの静止衛星 (高速再突入技術実証 機 (DASH) 同時打上げ) 注7 小型衛星及び鯨生態観測衛星 (WEOS) 同時打上げ 注8 打上げロケット未定				△ 〔注8〕 〔O I C E T S〕 〔オ イ シ エ ツ ス〕				
その他の 米ス又てト 国シは型 ペルル捨ツ 斐使口 スヤ使口 の回収 〔S F U〕	▲ 宇宙実験・観測フリ 〔H E T E〕 〔X 線 觀 測 裝 置〕	▲ 高工ネルギー・トラ ンジエント宇宙放射 線觀測衛星 〔H E T E〕 〔X 線 觀 測 裝 置〕		△ 〔注8〕 〔A S T E R〕 〔ア ス タ ー ル〕	△ 〔注8〕 〔E O S -P M 1〕 〔エ オ ス -P M 1〕 〔資源 探 査 用 將 來 型〕	△ 〔注8〕 〔E O S -P M 1〕 〔エ オ ス -P M 1〕 〔改 良 型 高 性 能 マ イ〕 〔ク ロ 波 放 射 計〕	△ 〔注8〕 〔A M S R -E〕 〔ア ム ス ル -E〕	△ 〔注8〕 〔M D S -2〕 〔ム ド ス -2〕 〔ライ ダ ー 実 証 衛 星〕	△ 〔注8〕 〔J E M〕 〔ジ エ ム〕 〔宇 宙 ス テ ー シ ョ ン の 日 本 の 実 験 棟〕	△ 〔注8〕 〔J E M〕 〔ジ エ ム〕 〔命 命 科 学 実 験 施 設 （生 命 科 学 グ ロ ーブ ボ ック ス） 〔人 工 重 力 発 生 装 置 搭 載 棟〕